

夢サラダ Vol.48

2010.12.1 発行

市民活動の拠点を目指しています。
 「今治市民活動センター」
 指定管理者：(特非) 今治NPOサポートセンター
 【お問合せ】TEL/FAX 0898-25-8234
 E-mail imanpo@nifty.com

より多くの共感と支援を得るために！

1998年に成立した特定非営利活動促進法、通称NPO法。公益活動を行う団体が簡易な手続きで法人格を取得できるしくみです。全国のNPO法人数は40,510団体を超え、愛媛県内の法人数も307団体となりました(2010年7月現在)。マスメディアへの露出も増え、「NPO」というワードは老若男女に浸透しました。社会的認知を得た今、その存在意義と活動価値を見出すために、より積極的な情報公開が求められています。



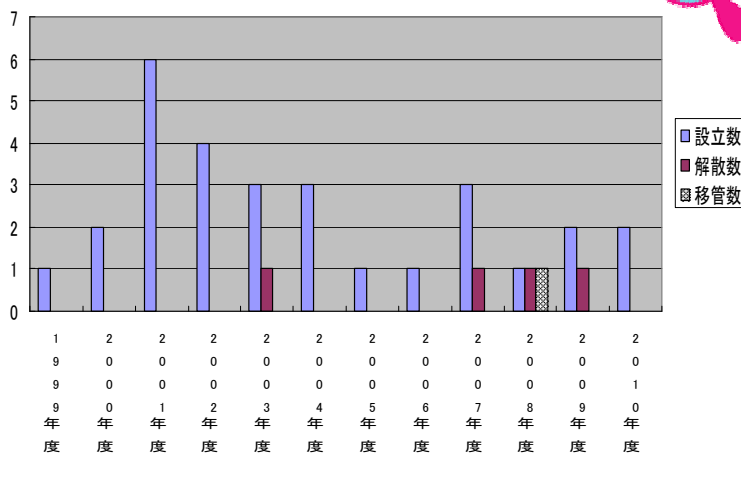
公益の担い手として期待

NPO法の施行から12年。今治市内にも24の法人が、福祉や子育て、まちづくりなどの分野で活動しています。公益を担う法人を、主務官庁の許可に縛られることなく自由に設立できるようにしたNPO法。行政ではカバーできないニーズに、市民目線できめ細かく対応する活動に期待が寄せられると共に、社会の公益増進を市民が担うという理念が浸透したことが大きな成果です。

情報公開が信頼性向上のカギ

情報公開による市民の選択・監視を前提としているNPO法。何のためにどのような活動を行っているのか、広く市民に理解してもらう努力がNPO法人には求められています。それは、市民と課題を共有し、活動の担い手や支持者を増やしていくことにもつながります。

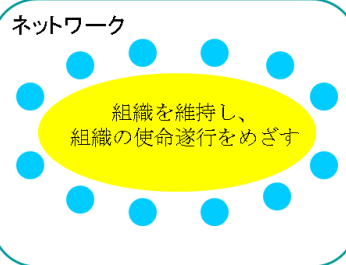
今治市が所管するNPO法人設立数・解散数



※「移管」:今治市外へ主たる事務所を移転及び今治市以外の自治体にも事務所を置く等の理由で、今治市から愛媛県等に所管が変更すること。

ネットワークからプラットフォームへ

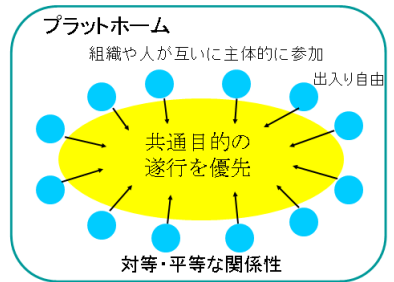
今治市のような地方都市のNPOは、商工会議所など地域の産業組織との付き合いを深めること、町内会や自治会などの地縁組織とうまく結び付くことなどがとても重要なことです。また、NPO同士のつながりも不可欠です。今治市民活動センターは、開館以来、座談会やNPOカフェの開催など、ネットワークづくりの様々なしかけを行ってきました。



今後、求められるのは、それぞれ特性をいかし、共通の目的で課題解決を目指すプラットフォーム形成。

NPO法成立前までは、公益活動を行う団体は、民法に基づいて社団法人や財団法人といった法人格を取得することはできませんでした。ただ、こうした法人になるには、財産と活動実績、さらには主務官庁による許可が必要であり、また法人になった後も主務官庁による厳しい監督の下で活動しなくてはならず、多くのNPOにとって使いにくい制度でした。そのため、多くのNPOは法人格を持たずに活動したり、営利法人の法人格を持って活動したりしていました。

今治市において、これまでゆるやかにつながってきた多様な関係者が、実質的な「協働」活動を展開する小さな経験を重ねていければと思います。



※図) 全国社会福祉協議会作成。

今治市の市民活動の過去・現在・・・そして未来

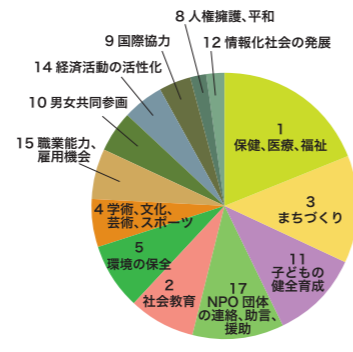
より良き今治市の実現に向け、主体的に地域に参画する市民の実践活動が求められています。
NPO法人はその担い手の一つ！行政や企業も含めた様々な担い手とつながり、地域課題を力強く解決していきたいものです。
あなたも身近な活動に参加してみてもいい！！



市民活動を取り巻く環境変遷

- 1998.3 「特定非営利活動促進法」成立・公布
- 2000.4 今治市にボランティア係設置
「市民活動モデル調査」の実施と提言
市民が共におこすまちづくり事業補助金設置
- 2000.10 今治市ボランティアサロン(現、今治市民活動センター)設置
- 2001.3 NPO 支援税制を含んだ「租税特別措置法改正法」成立・公布
- 2001.10 市民活動団体との連携策・支援策の調査研究
市民活動推進検討委員会の設置
「市民活動の推進」に関する提言書の作成
- 2002.4 今治市ボランティアサロンにボランティアコーディネーターを配置
今治市に市民活動推進室設置
市民が共におこすまちづくり事業補助金審査に「公開プレゼンテーション方式」を採用
今治市民活動センター条例施行
今治市ボランティアサロンを今治市民活動センターに改称
- 2002.12 「特定非営利活動促進法」改正
- 2003 NPO法人数が1万を超える
- 2003.4 今治市民活動センターで市民活動団体に事務室貸与の開始
- 2004.4 今治市民活動センターに指定管理者方式を導入
市民が共におこすまちづくり条例施行
市民活動推進委員会の設置
- 2005.1 市民活動推進に関する「協働の指針」作成
- 2006.4 今治市市民まちづくり推進課内に市民活動推進係設置
- 2007 NPO法人数が3万を超える
- 2007.2 市民まちづくりフォーラムの開催
- 2007.4 市民が共におこすまちづくり事業補助金に新しく「協働推進事業枠」を設置
今治市各課に協働推進委員を設置
- 2008.4 愛媛県より特定非営利活動促進法に係る事務の権限委譲(法人の認証等)
- 2010.4 今治市ボランティアガイドブック作成
今治市特定非営利活動法人設立費等補助金設置
今治市市民活動推進基金設置

分野を超えて、課題にアプローチ！
多様な団体のチカラを集結し、社会変革のパワー獲得を！！

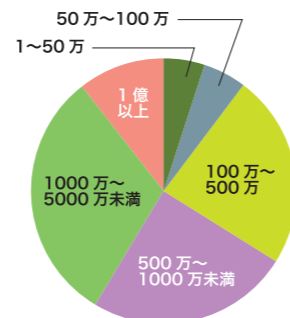


活動分野別集計
※番号は特定非営利活動の種類

「保健、医療、福祉」、「まちづくりの推進」、「環境保全」の分野で活躍するNPO法人が多くなっています。地域の課題や、背景にある社会システムはとても複雑で、分野の枠を超えて、団体が共に育ち、共によりよい地域づくりを目指すカタチが望まれているのが現状です。つながり合うためのルールとしくみづくりが求められています。

今治市民活動センターでは、活動を「伝える」「つなぐ」ことを目指し、「NPOカフェ」を開催しています！
ご参加ください。

収入バランスは活動継続のバイブルに！
より多くの共感と支援を集めるために
情報開示&信頼獲得を！！



2009年経常支出額別の法人数

資金や人材不足などで活動に行き詰まる団体も増えています。単年度の補助金や助成金頼みの資金繰りでは運営が安定せず、雇用にもつながりにくのが現状です。補助金や助成金が得られる間に、スキルを付け、自主事業を展開することが望まれます。会費や寄付を含め、収入源のバランスを意識した運営が求められています。

今治市では、施設貸与や法人化の初期費用支援などを行っています。ご相談ください。



号	特定非営利活動の種類
1	保健、医療、福祉
2	社会教育
3	まちづくり
4	学術、文化、芸術、スポーツ
5	環境の保全
6	災害救援
7	地域安全
8	人権擁護、平和
9	国際協力
10	男女共同参画
11	子どもの健全育成
12	情報化社会の発展
13	科学技術振興
14	経済活動の活性化
15	職業能力、雇用機会
16	消費者保護
17	NPO 団体の連絡、助言、援助



しまなみ海道周辺を守り育てる会

H22 年度市民が共におこすまちづくり事業
採択事業の現場をご紹介します。

“気づき”を行動へ

「瀬戸内しまなみ海道」が開通して 10 年。「美しい景観は世界に誇るもの」と地域住民に愛着が芽生える一方、気になることが…。それは、放置された荒れた土地、不法投棄されたごみの山でした。「何とかせねば」と立ち上がったのは、小浦・砂場地区の自治会です。平成 17 年、大規模な清掃活動に乗り出します。この地区にある複数の造船所も全面協力。約 200 名が参加し、10 t トラック 10 台分のごみを収集しました。この活動をきっかけに住民と企業がタッグを組み、景観保全などに取り組む「しまなみ海道周辺を守り育てる会」を平成 22 年 2 月に発足しました。



8 月に行われた清掃活動の様子です。
軽トラック 2 台分のごみを拾いました。

拡がりゆく活動

定期的なごみ拾い、草刈りなど、地道な活動を重ねる中、「きれいになったところに、桜の木を植えたいなあ」「この地区の歴史・文化を子ども達に伝えたいねえ」、そんな思いが自然と芽生えました。今夏は、地域子ども達に、地域美化活動に留まらず、歴史・文化に触れる研修会を企画。約 80 名もの参加者が集まりました。大浜八幡神社では、普段、何気なく見ている奉納物や石造物の謂れを確認し、また、近隣にありながら足を踏み入れることがなかった相の谷古墳の見学も行いました。



大浜八幡神社の御召板図を境内に下ろす参加者
皆さん興味深々です。

“10 年は続けること”

小浦・砂場地区からはじまった活動ですが、研修会には近見校区全域からの参加がありました。こうした活動の積み重ねが、人の輪を広げ、それぞれの心に郷土愛やボランティア精神が芽生えていくことを実感しています。今冬、来年と合わせて、何と 200 本もの河津桜を植樹する計画もあり、益々忙しくなりそうです。「10 年間は続けること」、メンバー一同の目標はとても力強いものです。



昨年 70 本植樹した桜の木
今春には小さいながら花が咲いたそうです。



植樹する河津桜は、今治ライオンズクラブからの寄附とのこと。様々な団体が応援してくれているんですね。目標としている 10 年後、しまなみ海道周辺が桜の名所となって、更に人々が集まる観光スポットになっている様子が目に浮かびます。訪れる方のモラルも向上していく事で活動の意義が更に増していくことと思います。

「しまなみ海道周辺を守り育てる会」の活動から目が離せません。